

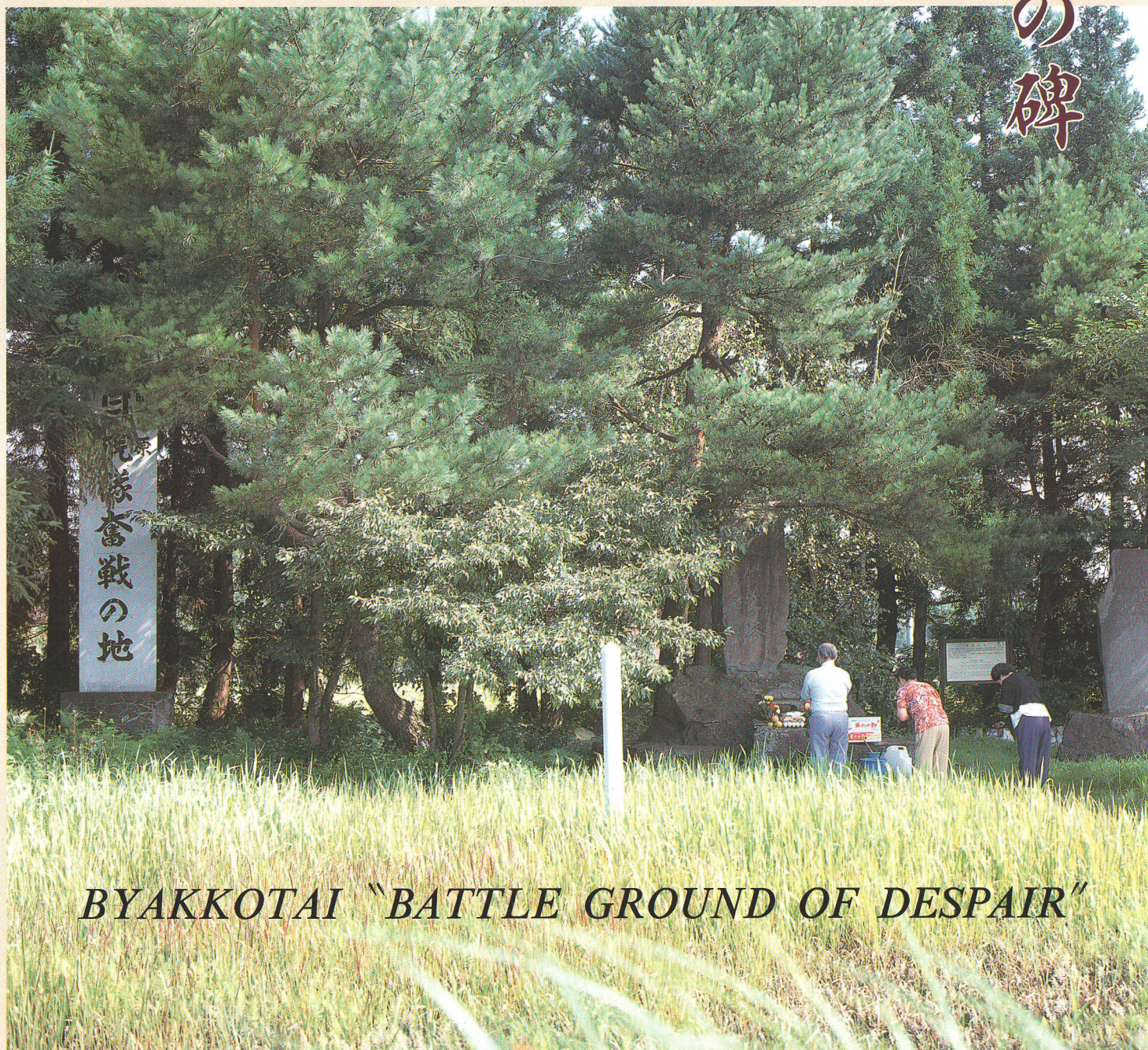
白虎隊奮戦地の碑

戊辰戦争で薩長連合軍と激しい戦いをした古戦場も静かに時間の流れを映し出している。

明治戊辰の役に会津藩白虎隊と薩長連合軍が大激戦をした場所であり、河東町と会津若松市の境界に建てられています。奇しくも近くには、会津藩の武芸練達の場（戦の訓練や鷹狩り等が行われた場所）や藩主自ら閲兵した鳥狩原、御殿山があります。また後には、陸軍の軍事練兵にも使われ、『昔日のロマン』を想わせてくれます。



ロマン伝説のまち河東



BYAKKOTAI "BATTLE GROUND OF DESPAIR"

●今も絶えない参拝者